

令和3年度 測量士試験 問題と解答 午前 No26 (応用測量)

<R03-No26 : 応用測量 (用地) : 問題>

次の文は、公共測量における用地測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 境界確認を実施するに当たっては、関係権利者に立会いを求める日を定め、事前に通知する。
2. 復元測量において、復元すべき位置に復元杭を設置する場合は、関係権利者への事前説明を実施するが、原則として関係権利者による立会いは行わなくてよい。
3. 収集した資料に基づき復元した現地が現状と相違する場合は、復元杭を設置せずに原因を調査し、その結果を測量計画機関に報告して適切な措置を講じる。
4. 境界点間測量は、用地境界仮杭を設置したあとに行う。
5. 面積計算は、境界測量の成果に基づき、各筆などの取得用地及び残地の面積を算出し面積計算書を作成する作業であり、原則として倍横距法により行う。